

ノーモア・ヒバクシャ通信 第21号

発行 2015年2月28日

ホームページ <http://www.kiokuisan.jp/>
継承ブログ <http://keishoblog.com/>

発行者 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会
〒102-0085

東京都千代田区六番町15 プラザエフ6F

TEL/Fax 03-5216-7757 (直通)

Email hironaga8689@gmail.com

郵便振替口座 00170-5-694752

(口座名義) ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産基金

★もくじ

I. 継承センター設立委員会の報告	P 1
II. 映像作品「The Atomic Bombing Exposed」公開のお知らせ	P 1
III. 「被爆者からのメッセージ」のご紹介と普及・活用をお願い	P 2
IV. 部会、作業グループの取り組みから	
(1) 資料収集・整理作業	P 2
(4) 継承交流部会の活動から	P 4
V. ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐネットワークの取り組みと今後の予定	P 5
VI. 各地の取り組み	
(1) 【東京】プラザエフ「ヒロシマ・ナガサキを語り受けつぐ」パネル展示	P 6
(2) 【埼玉】被爆体験の聞き書き	P 6
(3) 【東京】春の学習交流&しゃべり場	P 6
(4) 【愛知】コープあいち被爆者の声を聞き取る会	P 7
(5) 【埼玉】4/18 丸木美術館特別企画ドラマ・リーディング「父と暮せば」	P 7
VII. 2014年度会費納入のお願い	P 8
VIII. 第3回通常総会のご案内	P 8

I. 継承センター設立委員会の報告

第6回会合を1月24日(土)に開催しました。これまでの委員会討議を踏まえて「ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産の継承センター 設立構想(案)」(スライドのプリント)が説明、提案されました。「センターの電子データ化およびオンライン・コンテンツについて」も改めて説明があり、アーカイブ化の見本を実際に見てもらえる作業をすすめることとしました。「デジタル・アーカイブ化」の説明と建築部会のレイアウト(案)を加え、設立構想(案)をまとめることとしました。3月の理事会に報告・説明する予定です。

II. 映像作品「The Atomic Bombing Exposed」公開のお知らせ

ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会 (<http://kiokuisan.com>) では、2014年7月に公開した映像作品「原爆は、人間として死ぬことも生きることもゆるさなかった」

の英語版「The Atomic Bombing Exposed」を動画投稿サイト You Tube 上にて公開しました。

本作品公開によって、海外の方にも被爆の実相が伝わるための一助となるよう、願っております。海外のお知り合いや関係団体にも広くご紹介ください。

映像作品は継承する会の web サイトからご覧いただけます。

Ⅲ. 「被爆者からのメッセージ」のご紹介と普及・活用のお願い

日本被団協とノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会は、今回、同封した「2015年NPT再検討会議へ向けて 被爆者からのメッセージ」を発行しました。

この「被爆者からのメッセージ」は、被爆者が語った体験や思いを、若い世代が聞き取って書き起こす共同作業で作りました。小さな冊子ですが、被爆者とその思いを受け継ごうとする人びとの共通の願いが込められています。4～5月に開かれる核兵器拡散防止条約（NPT）再検討会議には、日本被団協の代表団がこの英訳版を持参し、そのこえと願いを国連や世界の人々に届けます。

この冊子は日本被団協、ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会のHPから自由にダウンロードすることができます。英語版は4月に同じHPからダウンロードできるように準備を進めています。

印刷された冊子が必要な方は頒価 200 円＋送料でお送りいたしますので、同封の注文票を継承する会事務局までFAXください。

（詳しくは別紙「被爆者からのメッセージ」のご紹介と普及・活用のお願い）をご参照ください。）

Ⅳ. 部会、作業グループの取り組みから

（1）資料収集・整理作業

1) 資料調査

センター設立委員会の資料庫部会では、各地の被爆者運動や関連諸分野の資料保管の実態を把握し、今後の整理・保存の方針をたてるため、資料調査をすすめています。

● 医療分野の関係資料について

被爆者のカルテや問診票、研究論文や調査、相談活動の記録など、医療・医学関係の資料の収集・活用の方針を立てるには、その分野の専門家の協力が不可欠です。カルテの保存義務は通常は5年。継承する会では医療関係者を中心に、全国民主医療機関連合会（民医連）をつうじて各院所に被爆者医療の古い資料も廃棄しないでほしいと呼びかけるとと

もに、これまで被爆者医療や医学調査に関わってこられた方々に協力をいただきながら、その検討が始まろうとしています。

その手始めに代々木病院の資料保管の実態を見せていただこうと、1月30日、神奈川県藤沢市善行にある倉庫を見学。あいにく関東地方も雪に見舞われたなか、中澤副理事長（医師）をはじめ資料庫部会の濱谷、舟橋両委員、1977年シンポの医学調査の事務局をつとめた野口義夫さん（民医連）ら7名が参加しました。

倉庫内はほぼ天井まで立てられたスチール棚にぎっしり収められたカルテのほか、検査資料や被爆者問診票、各院所で行った「遺族調査」の原票など、貴重な資料の山。こうした医療分野の資料については、どこが主体となって整理し、どこにどのように保管することが適切なのか、継承する会としてはどんな活用が可能なのか、早急に医療関係者の作業グループをつくり検討していく必要があります。

2) 被団協所蔵資料の整理作業

① 愛宕事務所での被団協運動史料の整理

現在、日本被団協の運動資料を中心に、各地の亡くなられた役員の遺された資料を寄贈していただき、それらの整理・目録作成をすすめています。

昭和女子大のみなさんによる今年度最後の資料整理作業が始まりました。春休みを利用しての今回は2月19日から3月10日の間の5日間、18人延べ30人がシフトを組んで参加してくださる予定です。

これまでに各地の幹部とそこご遺族から提供された被爆者運動資料の最後、兵庫県被団協の前理事長・園辰之助さんの遺された資料にとりかかっています。特大の段ボール4箱に、県被団協の総会、理事会などの諸会合や行動の記録のほか、県内各地の被爆者の会の総会資料や会報、メモなどがぎっしり。神戸市をはじめ明石、赤穂、芦屋、尼崎、淡路、伊丹、川西・猪名川、宝塚、丹有、西宮、姫路など、県内各地域に被爆者の会がつくられ活動してきたことに、学生さんたちも驚いていました。

3年になったら原爆や戦争のことを自分の研究テーマにしたいと思っている、という人。「とても楽しかったです。わたし、こういう仕事が好きなんです」という人。「また来ます」と元気に帰っていく姿がとてもさわやかです。

② 日本被団協所蔵の書籍・文献類の整理

①の資料とならんで継承する会が系統的に集めるべき資料の大きな柱は、被爆者の書いた手記・体験記（自費出版も含む）をはじめとする書籍・冊子類です。そのベースとなるのは日本被団協が所蔵する書籍・文献類。1月6、7の両日、それらを手記・体験記、文学・芸術（写真、音楽、美術など）、各県・地域の被爆者の会の出版物、被爆者調査・研究、医学・医療、原水禁運動など、ジャンルごとに大まかに区分しました。

このデータ・ベースの入力、作成作業をすすめるための人員確保も急務です。

③ 各県被団協資料の収集・整理のために

数県の被爆者の会から、資料の保管についての問い合わせがきています。

今のところ、継承する会としての資料整理は愛宕の事務所で行っていますが、ここの契約は5月に切れるため、次の保管・整理作業のための場所を探しているところ。当面は、資料の収集状況に合わせて間借りをしていく「ヤドカリ方式」をとらざるを得ず、保管・収納のスペースも整理のスタッフも限られているのが実情です。

また、各県・各地域の被爆者運動に関する資料については、できることならそれぞれの地元で手にとって閲覧できることが望ましく、支援団体や地元の図書館・公民館・文書館などとの協力関係を探り、小さくとも原爆文庫・被爆者資料コーナーのようなものをつくる可能性を追求していただければと考えています。

その際、公刊された書籍類だけでなく、地元の被爆者の会ならではの手づくりの発行物やアンケート・調査類の原票、個人の生原稿（未発表のものを含む）など、生の資料が何より貴重です。それぞれ保管場所には苦慮しておられることと思いますが、まずはそうした資料の散逸を防ぎ、保管しておいてくださるようお願いします。

(2) 継承交流部会の活動から

語り受け継ぐネットワークにおける聞き取りの積み重ねのなかで、参加したみなさんから、もう一步つっこんだ学びの場がつかれないかというご意見が出されています（たとえば、受忍論について、国家補償について、など）。

継承する会としても、ことし被爆70年から来年の日本被団協結成60周年に向けて、被爆者から若い世代に向けて何を伝えようとするのか、若い人たちとともに学び合う場をつくり、その機会を重ねていくことが課題となってきています。

継承交流部会では、被爆者と若者が双方向で伝え、学び合えるような場を、どんな課題をめぐってどのようにつくればよいか、被爆者と継承活動に参加してこられた若い方々の問題意識をすり合わせながら検討したいと考えています。

- ・被爆者として、これだけは語り伝えたいと思うこと
- ・被爆者にこんなことを聞きたい、学びたいと思うこと

みなさんのご意見をぜひ事務局までお寄せください。（FAX またはメールで）

FAX 03-5216-7757

E-mail: hironaga8689@gmail.com

継承活動のための懇談会や学習会の詳細については、適宜、会のホームページや継承ブログ (<http://keishoblog.com>) でご案内していきます。

V. ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐネットワークの取り組みと今後の予定

1/31(土) 都内四ツ谷主婦会館プラザエフ5F会議室でヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐネットワーク第5回打合せを行いました。



12名が参加し、

(1) 12月の「ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐつどい」、8月、11月の「被爆の証言を聞くつどい」などの振り返りと、

(2) 今年の取り組みとして

- ・ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐつどい
- ・被爆の証言を聞くつどい
- ・学習会の企画
- ・「被爆者からのメッセージ」の活用
- ・被爆者の証言記録のwebでの発信について熱心に討議しました。

=今後の予定=

- 3/29(日) 13:30~15:30 被爆の証言を聞くつどい
4/19(日) 13:00~15:00 第6回打ち合わせ
15:30~18:30 「アオギリにたくして」上映会(料金1000円)

場所はいずれも主婦会館プラザエフ5F会議室(JR四ツ谷駅下車すぐ)を予定しています。どなたでも参加いただけます。参加を希望される方はメールまたはFAXにてご連絡ください。

4/19の「アオギリにたくして」上映会には中村柊斗監督、音楽監督の伊藤茂利、中村里美さんがいらっしゃいます。

【連絡先】 ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐネットワーク事務局
ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会事務局まで

VI. 各地の取り組み

被爆70年、NPT再検討会議の開催される今年は各地で様々な取り組みがすすめられると思います。皆さんの取り組みのご案内や取り組みの様子を伝える記事をお寄せください。ノーモア・ヒバクシャ通信や継承ブログなどでご紹介させていただきます。

(1) 【東京】主婦会館プラザエフで「ヒロシマ・ナガサキを語り受けつぐ」パネル展示

主婦会館プラザエフで「ヒロシマ・ナガサキを語り受けつぐ」パネル展示が行われています。主婦連/主婦会館のホームページの記事を転載してご紹介します。

(主婦連/主婦会館のホームページより転載)

【ロビー展示】ヒロシマ・ナガサキを語り受け継ぐ (2月末まで)



12月1日(月)～主婦会館1階エレベーターホールでは、「ヒロシマ・ナガサキを語り・受け継ぐ」をテーマにパネル展示を行っています。ヒロシマ・ナガサキの被爆体験を語り、後世に語り継ぐ活動を展開しているノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会の取組み、12月13日(日)主婦会館プラザエフで開催するヒロシマ・ナガサキを語り・受け継ぐつどいの紹介をしています。来年2015年は被爆70年を迎えます。NPT(核不拡散条約)再検討会議への行動をステ

ップにして、核兵器が人類と共存できないことを、核兵器をなくすためにはどうしたらいいのか共に考え、歩んでいく輪を広げていきましょう。ご来館の際は、ぜひご覧ください。

(転載ここまで)

元記事URL：<http://shufuren.net/wordpress/seminar/?cat=26>

(2) 【埼玉】被爆体験の聞き書き

埼玉の被爆体験聞き書き実行委員会では1月23日に浦和平和クラブがコープみらいのプラザ浦和でYさんの聞き取り、1月24日に平和クラブぴよんふあが飯能のコープみらいのミニコープ緑町店でTさん、2世のKさんの聞き取りをしました。少人数での取り組みですが、証言者と交流ができてよかったです。緑町店では原爆のパネル展をやり、平和クラブのメンバーのほかに親子連れが2組、組合員さんが2人参加してくれました。3月8日には、NPT再検討会議に向けてコープネットグループ労働組合代表団結団式のなかで聞き取りをする予定です。

(3) 【東京】春の学習交流&しゃべり場―戦後70年「ヒバクシャからのたすき」

東京高校生平和ゼミナール連絡会は春の学習交流&しゃべり場―戦後70年「ヒバクシャからのたすき」を開催します。

日時 2015年3月22日(日)午後1時30分～

内容 ・お話「原爆の苦しみ、いまも～核兵器も戦争もない世界を～」
児玉三智子さん（7歳のときに広島で被爆）

しゃべり場

会場 正則高等学校第一視聴覚室
地下鉄日比谷線・神谷町駅から徒歩5分
地下鉄三田線・御成門駅から徒歩5分

主催 東京高校生平和ゼミナール連絡会

(4) 【愛知】 コープあいち被爆者の声を聞き取る会

4/18（土）にコープ上社（13：30～）で被爆証言の聞き取り会を予定しています。

(5) 【埼玉】 4/18 丸木美術館特別企画ドラマ・リーディング「父と暮せば」のお知らせ

戦後70年の今年、あらためて「父と暮せば」を上演していくことになりましたのでご案内させていただきます。原爆の図・丸木美術館で、初の「父と暮せば」となります。

〈丸木美術館特別企画〉

2015年4月18日（土）開演：午後2時（開場1時30分）

ドラマ・リーディング「父と暮せば」

作：井上ひさし 演出：蒔村三枝子

出演：〈桂月企画〉内山森彦・岡崎弥保・蒔村三枝子・太宰百合（ピアノ）

料金＝全席自由2,500円（入館料込・予約制）、丸木美術館友の会会員は800円割引

丸木美術館へのアクセス

丸木美術館は東武東上線・森林公園駅から徒歩で約10分のところにあります。

チケット代は入館料込なので、公演前もしくは後に「原爆の図」第1～14図、企画展「島田澄也展」（←バルタン星人をつくった人です）もじっくりみることができます。

今年「原爆の図」は戦後70年の節目でアメリカや広島など巡回するのですが、4月18日はすべて丸木美術館にあるので、複製ではなく本物をじかに見ることができます！

「父と暮せば」は、丸木夫妻の大きな壁画に囲まれた展示室を会場に行われます。

本当に畏れ多いことですが、この場所で公演できることをとても嬉しく思っています。

ご予約はお名前・人数・電話番号をこちらにメールしていただければ幸いです。どうぞよろしくお願ひします。

【連絡先】

岡崎 弥保

ohimikazako@gmail.com

090-7216-2312

ブログ「言の葉つむぎ」 ameblo.jp/ohimikazako/

FB [facebook.com/ohimikazako](https://www.facebook.com/ohimikazako)



VII. 2014年度会費納入と継承する会「紹介パンフ」普及のお願い

2014年度もあとわずかとなりました。通信20号などでご案内させていただいておりますが、2014年度の会費の納入にご協力くださいますようお願いいたします。

5月に第3回通常総会を開催いたしますが、議決権を有するのは3月末日現在で2014年度の正会員会費1万円をお納めいただいている正会員となります。

また、継承する会への参加、協力を広く呼びかけ、会の財政を支えるためにも、継承する会とその活動を紹介するパンフレット『NO MORE HIBAKUSHA 受け継いで、未来へ』の大量普及・活用にご協力ください。(頒価 1部:200円、送料実費)お願いいたします。

VIII. 第3回通常総会のご案内

ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会第3回通常総会を以下の日程で開催いたします。詳細は追ってお知らせいたします。なお、通常総会で議決権を有するのは3月末日現在で2014年度の正会員会費1万円をお納めいただいている正会員となります。

日時 2015年5月23日(土)
場所 東京四谷主婦会館プラザエフ